



2024年4月24日

各 位

上場会社名 シグマ光機株式会社
代表者 代表取締役社長 近藤 洋介
(コード番号 7713)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 石井 康之
(TEL 03-5638-8221)

令和6年能登半島地震による影響に関するお知らせ(第四報)

令和6年1月1日に発生いたしました「令和6年能登半島地震」により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

本年1月9日にお知らせいたしました「令和6年能登半島地震による影響に関するお知らせ」に関して、現時点において確認されている当社能登工場(羽咋郡志賀町)の状況について、下記のとおりにお知らせいたします。

記

1. 当社能登工場の現在の状況について

当社能登工場の主力生産品目である光学基本機器製品においては、当社生産各拠点及びグループ生産会社、サプライヤー様、生産協力会社様と緊密に連携して一部代替生産等を進めた結果、当該製品の供給体制については、3月度稼働において通常稼働時の8割程度まで回復しており、5月末を目途に通常稼働時と同等の水準に回復する見込みであります。

お客様、サプライヤー様、生産協力会社様、設備メーカー様等の多くのステークホルダー各位には多大なるご支援を賜りましたこと、改めて心より厚く御礼申し上げます。

なお、当該工場での生産加工業務においては、設備メーカー様及び関係各位のご協力の下、比較的被害が軽微であった生産設備は生産加工業務を再開しております。被害の大きかった生産設備は一次復旧対応させたくうえで加工テストを行う等の復旧を進めており、本年5月末を目途に大部分の生産設備の本復旧対応が完了する見込みであります。但し、一部の高精度な生産設備については、本年6月以降に二次復旧対応を行い、早期に本復旧対応を完了させるように取り組んでまいります。

また、当該工場においては、建物及び附帯設備等について一部損壊及び上下水道の断水等の被害が発生した中、従業員の安全に十分配慮しつつ供給体制の復旧を優先しておりましたが、この度、当該工場が通常稼働と同等の水準に回復する目途が立ったことを受けて、当該工場の建物及び附帯設備に関する修繕にも本年5月以降で取り組む予定であります。但し、当該工場の通常稼働と並行して建物及び附帯設備の本復旧対応に取り組むため、半年程度の工期を見込んでおります。

2. 今後の業績に与える影響

今回の地震による当社グループの業績への影響につきましては引き続き調査中であります。今後、開示すべき事象が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上